安藤百福物語

インスタントラーメンの発明者

あ　ら　す　じ

お湯を注ぐだけで美味しく食べられるインスタントラーメン。それを発明したのが安藤百福です。百福は子どものころから食べる事が大好きでした。なぜなら、食べると幸せな気持ちになり、力が湧いてくるからです。

今から約80年前。日本は戦争に負けて多くのものを失いました。そんな中、闇市でラーメンをすする人たちの明るい表情を見た百福は、改めて食べ物の持つ力を実感。「大勢の人に手軽でおいしくラーメンを食べてほしい」と考え、自宅の庭に研究小屋を建て、試行錯誤を繰り返しながら、世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を作り上げました。47歳、一からの挑戦です。

百福の「食べ物で人を幸せに」という願いから生まれたインスタントラーメンは世界に広がり、多くの人に愛されるだけでなく、災害時の非常食として、また宇宙食として、今もなお可能性を広げています。

DVDをより深く子どもたちが理解し、考える力をつけるために

視聴後に、簡単な声掛けや感想を書く事で、子どもたちの理解はより一層深まり、考える力が身に付きます。

（1）百福が大好きだったのはどんなことかな？
（2）百福はどうして食べる事が好きだったのかな？
（3）百福はたくさんの失敗を繰り返してインスタントラーメンを作ったけれど、
　　どうしてあきらめずにがんばれたのかな？
（4）インスタントラーメンを発明した人の事を知って、どんなことを感じた？
（5）キミは、将来どんなことをやりたい？
　　そして、それをやり遂げるためには何が大切だと思う？
（6）「私はこんな風に思った」「私はここが面白かった」など、
　　お友達といろんな話をしてみましょう。
　　また、おうちの人にもDVDで見たことを教えてあげましょう。